■商品に関するお問い合わせ先

株式会社　ホンダモーターサイクルジャパン
〒115-0055 東京都北区赤羽西6-36-2　TEL.03-5993-8667
（月曜～金曜（除く祝日）AM9:30～AM11:45 / PM12:45～PM17:30）

HMJ-OSP-BP100101　　記載内容は2010年1月1日現在のものです。

ボディプロテクター取扱説明書

保管用

一体型

セパレート型

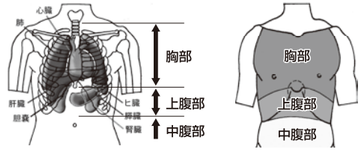
ご使用になる前に

この取扱説明書は、ご使用になる前に
必ずお読みください。

ご使用前に必ずお読みください

このたび、当社製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はお買い上げいただいたボディプロテクターの正しい取扱方法や各機能、脱着などについて説明しています。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。またお読みの後は、大切に保管してくださいますようお願いいたします。
本ボディプロテクターは、モーターサイクル乗車時の万一の際に、ライダーの胸部・上腹部への衝撃の度合いを軽減する事を意図して開発されております。
したがって、いかなる事故においても本製品の性能を発揮できるという訳でないということをよくご理解のうえご使用ください。安全快適なモーターサイクルライフを楽しむためにも、この取扱説明書の記載内容をよくご理解いただきますようお願いいたします。
本製品は他の目的では絶対に使用しないでください。

人体部位の名称



安全に関する表示	
⚠危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの
アドバイス	製品のために守っていただきたいこと

⚠警告　ボディプロテクターは、すべての傷害を防ぐ訳ではありません。傷害が起きた場合は、すぐに医療処置をしてください。

ボディプロテクターは衝撃の軽減および、突起物による胸部陥没を軽減することを目的としたもので、安全を保障するものでは有りません。今までどおり安全運転をお願いいたします。

⚠警告　ボディプロテクターに変形や割れ潰み等のあるもの、また一度でも大きな衝撃を受けたものは、使用しないでください。

プラスチック部品に大きな傷が付いたり、変形していると、強度が低下し保護性能低下の原因になります。また、ボディプロテクターは本体が潰れたりたわんだりすることにより、衝撃エネルギーを吸収し胸部の損傷を軽減します。大きな衝撃を受けたボディプロテクターは、潰れやたわみによる変形が発生している場合が多く、そのまま使用すると、再度の衝突エネルギーを吸収できません。従いまして、大きな衝撃を受けたボディプロテクターは、外観にキズ等が無くても使用しないでください。

⚠警告　製品の取り付けは取扱説明書の記載に従い正しく行ってください。

正しく取り付けないと、転倒したときなどに脱落してしまい、保護部位を守ることができない場合があります。

⚠警告　ボディプロテクターの改造は絶対にしないでください。

ボディプロテクターに穴を開けたり、切断などの加工および塗装などは絶対に行わないでください。ボディプロテクター本来の性能が発揮できなくなります。

⚠注意　適応サイズの確認を行ってください。

適応したサイズを使用しないと、本製品が持つ保護性能を発揮することができません。
本製品に記載の適応サイズを確認の上ご使用ください。

⚠注意　ボディプロテクターの取扱いと保管について

ボディプロテクターは、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。また、直射日光の当たる車の中や、暖房器具のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。
ボディプロテクターの材質劣化の原因となり衝撃吸収性能が低下する恐れがあります。

⚠注意　ボディプロテクターは購入後3年をめどに交換してください。

ボディプロテクターは様々な状況において使用・保管されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。そのためボディプロテクターの耐久性を考慮して購入後3年をめどに交換を推奨します。

アドバイス　ボディプロテクターのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、等の有機溶剤や漂白剤は絶対に使用しないでください。ボディプロテクターの材質が劣化し、ボディプロテクターの性能が低下する恐れが有ります。

製品の保証について

●製品には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は、新しい製品と交換、又は無償修理いたします。但し上記以外の故障、破損、事故等について商品交換、修理保証についてはご容赦願います。
●製品についてご不明な点は、お買い上げいただきました販売店にお問い合わせください。

ボディプロテクターの種類

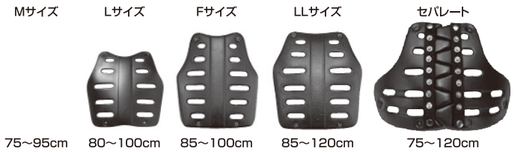
一体型

ジャケットに直接取付　　ジャケットの内側着用ベストに取付

セパレート型

ジャケットに直接取付　　ジャケットの内側着用ベストに取付

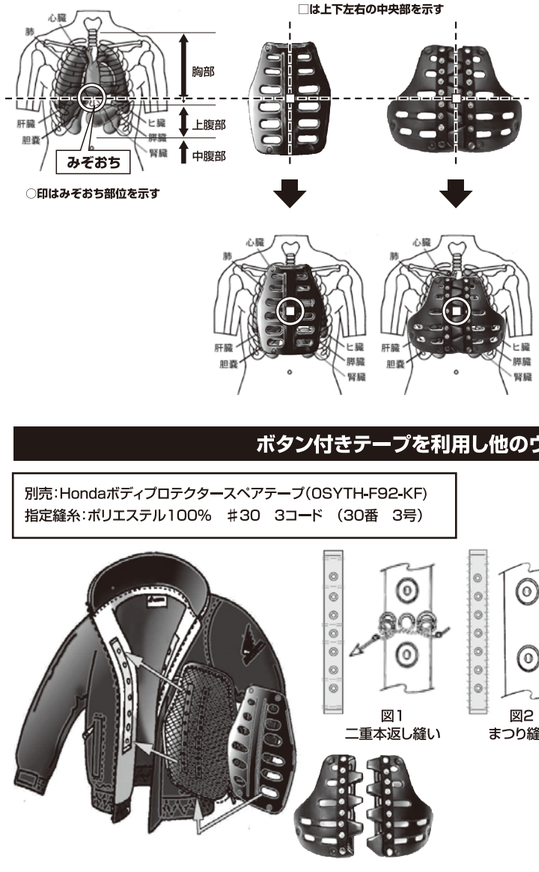
ご使用タイプに合わせた取り扱い方法をご確認ください。



ご自分に合った適応サイズをご確認の上ご使用ください。

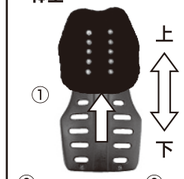
ボディプロテクターの正しい取付位置

重要
ボディプロテクターの上下左右の中央部が胸の、みぞおちに来るように取り付けてください。
ボディプロテクターは心臓及び肺などの胸部と
肝臓、ヒ臓、膵臓、腎臓などの上腹部を保護することを目的としています。
但し、ボディプロテクター本体の装着部位以外は保護出来ません。



ボディプロテクター着用方法

一体型



取付方法
① 一体型ボディプロテクターを収納袋に収納し収納袋のファスナーを閉じる。
② 取付ボタンをウエアの片側に取り付ける。
③ 反対側のボタンを取り付ける。
④ 前ファスナーを完全に閉じる。
⑤ 取付終了です。

セパレート型

取付方法
① セパレート型はウエアのボタンに左右それぞれ直接取り付ける。
② 前ファスナーをプロテクターの下端まで閉じる。
③ 左右のボディプロテクターを手前に押出しながら結合させる。
④ ウエアの前ファスナーを完全に閉じて取付終了です。

取付ボタンの使い方（例）

一体型は収納袋に入れて取り付けてください。ボタンは片側3個以上、両側合計6個以上取り付けてください。

セパレート型はウエアのボタンに左右それぞれ片側3個以上、両側合計6個以上取り付けてください。

⚠警告　取付ボタンが脱落したり、収納袋が破れた場合は使用しないでください。

ボタン付きテープを利用し他のウエアにボディプロテクターを取り付ける

別売：Hondaボディプロテクタースペアテープ（OSYTH-F92-KF）
指定縫糸：ポリエステル100%　＃30　3コード　（30番　3号）

図1
二重本返し縫い

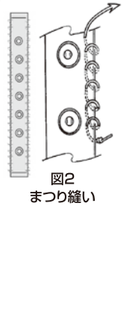
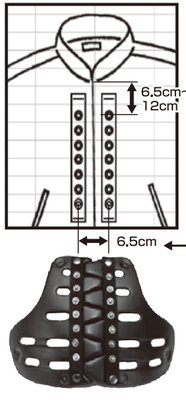


図2
まつり縫い



スペアテープは前ファスナーを中心として幅6.5cmの位置に仮止めしてから縫いつけてください。縫い方は図1、又は図2のどちらの方法でもかまいません。

襟下から第一ボタンまでの距離は体型や冬物、夏物によっても異なります。目安は6.5cm～12cmです。上下調節が可能なように7個のボタンがセットされています。プロテクターの中心が胸のみぞおちに来るようにセットしてください。

この幅寸法は重要です。多少の許容寸法差（±3mm）はありますが極端に寸法差がある場合プロテクターが取り付かない場合があります。正確に取り付けてください。